会報
第81号
2022年10月

アルテピア

一般社団法人 北海道美術館協力会
札幌市中央区北3条西18丁目2－7 新田ビル2F　TEL・FAX 011－644－4025
https://www.artepia.or.jp

小林孝亘《Tree》

2002～03年　油彩、キャンバス　410×300cm（北海道立釧路芸術館蔵）

小林孝亘の絵画のモティーフは、樹木、犬、テールランプ、器、人間像…等、非常に幅広いように見えます。しかし、表現の核心には、常に一貫して、「光」が存在します。そのきっかけは、ある日、通いなれた道で木漏れ日を目にしたとき、心が静かな豊かさに満たされていくという経験をしたことでした。

当館が所蔵する〈Tree〉は、縦410×横300㎝の巨大な絵画で、絵具が何層にも塗り重ねられているため、たいへん重い作品です。本作の前に立つと、丹念に塗りこまれた絵具の層の内側からこちら側に向かって、柔らかな光がにじみ出てくるように感じます。絵画が発する光のなかに包み込まれるような、独特な鑑賞体験が生まれます。作者は、かつて自分の心を静かに満たした木漏れ日の「豊かさ」を、「光」の表現として絵画化しているのではないでしょうか。

小林孝亘は、1960（昭和35）年、東京都生まれ。愛知県立芸術大学で油彩を学び、1996（平成8）年、VOCA展奨励賞受賞。文化庁芸術家在外研修員（タイ、バンコク）。東京とバンコクを行き来しながら制作（’99～2012）下敷きを経て、2013（平成25）年から逗子を拠点に制作を続けています。

井内佳津恵（北海道立釧路芸術館　学芸主幹）

世界が絶賛した浮世絵師 北斎展 ―師とその弟子たち―

2022年9月17日(土)
～11月27日(日)

北海道立旭川美術館　藤原乃里子

葛飾北斎（1760〔宝暦10〕～1849〔嘉永2〕年）は、歌川広重、喜多川歌麿、東洲斎写楽らと並び、江戸時代後期に活躍した浮世絵の巨匠です。日本人ならば誰もが必ずや目にしているであろう〝赤富士〟、〝波冨士〟をはじめ、その芸術は現代においても圧倒的な評価と人気を博しています。

70年余りの長い作画期間のなかで、北斎が手がけた分野は多岐にわたります。初期には役者絵や美人画を手がけて早くも才能を発揮しますが、一所にとどまることなく、遠近法を取り入れた浮絵や名所絵、幽霊画と、浮世絵のありとあらゆる題材に挑み、膨大な数に及ぶ名作を世に送り出したのです。

千変万化の作風は、流派や伝統にとらわれることなく、独自の表現を模索し続けた飽くなき探究心に満ちあふれています。とりわけ巧みで自在な線描と、彫版や摺り上げの効果も熟慮した象徴的な色使いとともに、大胆な構図に仕上げた作品は、唯一無二の魅力をもたらしているといえるでしょう。

3　葛飾北斎
〈岩井半四郎のかしく〉

本展ではこうした北斎の画業、各時代の代表作が展覧されます。二十歳のデビュー作となった役者絵〈岩井半四郎のかしく〉（図版3）にはじまり、歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』十一段を絵画化した〈新板浮絵忠臣蔵〉や、広重に先行して手がけた〈東海道五十三次〉などの人気シリーズが並びます。

1　葛飾北斎〈冨嶽三十六景　神奈川沖浪裏〉

4　葛飾北斎〈くだんう志がふち〉

2　葛飾北斎〈冨嶽三十六景　凱風快晴〉

また40歳代のころ、舶来の銅版画に想を得た西洋画風の風景画（図版4）と、70歳代に入り冨士山のすがたをさまざまにとらえた〈冨嶽三十六景〉の連作（図版1、2）からは、風景表現の深化をみてとることができます。

妖怪絵では〈百物語〉のうち今日、現存が確認されている全5点が展覧されます。〈こはだ小平二〉（図版5）は、解剖学と骨法にのっとった正確な骸骨描写とともに、蚊帳にみられる繊細なぼかしの表現に目を見張るものがあります。

5　葛飾北斎〈百物語　こはだ小平二〉

6　葛飾北斎〈自画像〉（肉筆画）

自らの名を冠した絵手本『北斎漫画』や文字絵などに加え、40歳代から50歳代と晩年に多く手がけた貴重な肉筆画（図版6）からは、画家の筆先より生み出される生き生きとした線の妙味をご堪能いただけます。あわせて葛飾北明ら北斎に師事した弟子たち（図版7）や、フランスの画家アンリ・リヴィエールが北斎へのオマージュとして手がけた連作（図版8）も展覧。およそ190点という充実したラインナップの出品内容を通して、北斎芸術の全貌に迫ります。

7　葛飾北明〈手紙を読む美人図〉（肉筆画）

8　アンリ・リヴィエール
〈エッフェル塔三十六景　建造中のエッフェル塔、トロカデロからの眺め〉

なお本展は、旭川美術振興会を母体とする旭川市民実行委員会と当館との共催によって、開催されます。この秋は、ぜひ旭川美術館へお越しの上、北斎芸術の世界をたっぷりとお楽しみください。

建築家上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ

2022年9月10日(土)～12月11日(日)

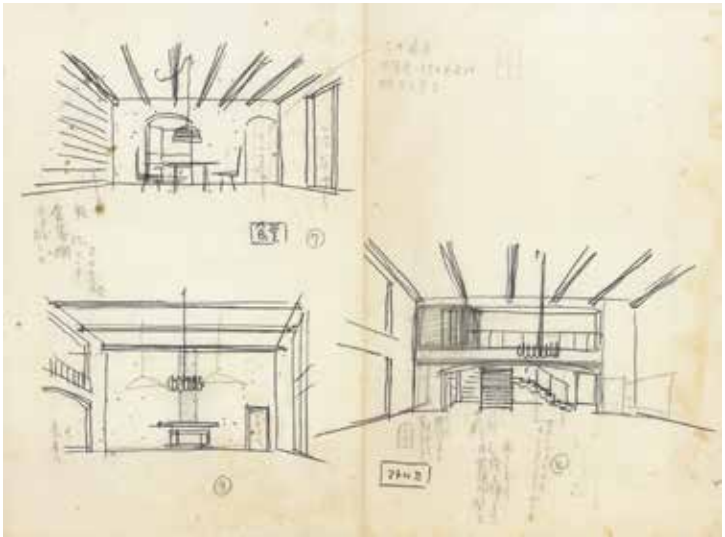
本郷新記念札幌彫刻美術館 館長　吉崎　元章

本郷新記念札幌彫刻美術館は、本館と記念館という二棟から成っています。レンガの外壁や二階部分が大きく張り出した造りが特徴的な記念館の建物は、本郷新(1905―1980)が生前に、アトリエとギャラリーを兼ねた邸宅として、北海道を代表する建築家上遠野徹(1924―2009)に設計を依頼したものです。

1977年11月に完成してほどなく、本郷は次のように書き残しています。「いつの間にか彫塑を業として半世紀をはるかに越してしまった今日ではあるが、数多くの駄作を抱えて東京から帰るとすれば、地上の姿は如何に変ろうとも、草や花や鳥や虫たちが地下に眠るふるさとの山ふところにしか私の生を求めるところはないと考え、今年ここに夢のアトリエを建てた。」(北海道新聞、1978年1月10日)。歳を重ねるごとに自らの創作のなかに深く根付く故郷に対する思いを強くしていった本郷が、北海道での拠点を、小樽の春香山から、生まれ育った場所にほど近い札幌の宮の森の地に移すためのものでした。設計にあたった上遠野は、「自然の環境を生かし、四季の変化のすばらしい北ぐにの条件を存分に取入れたアトリエを求められた。」「先生御夫婦の細部に渡る検討と注文が、東京、札幌と再三の往復で出来上がった。」と、当時を振り返っています。

本郷新が1977年に建てたアトリエ兼ギャラリーをもとにした本郷新記念札幌彫刻美術館記念館(設計：上遠野徹)

本展は、この宮の森のアトリエを軸に、上遠野徹と本郷新それぞれの仕事を見ていくものです。上遠野は、北海道内の数多くの住宅建築を手掛けています。その写真や図面、模型等から、そこに息づく北の風土に根ざした清廉なモダニズムを紹介します。また、本郷新のアトリエがつくられる過程で描かれた図面やイメージスケッチなどを通して、この建物に込められた両者の思いを明らかにしていきます。さらに、本郷新が短いながらもここで過ごした日々をたどるとともに、病に伏して入退院を繰り返していた一年間に残した彫刻、素描、草稿などを展示し、最後まで創作に向き合い続けた姿や、志半ばで途絶えてしまったいくつかの構想を紹介します。会期中には、記念館を普段は公開していない場所を含めて建築家の解説とともに巡るツアーも予定しています。



上遠野徹による本郷新のアトリエの各部屋イメージスケッチ　1977年2月頃

MUSEUM CALENDAR
2022.10〜2023.3

美術館のおもな展覧会ご案内

は特別展示室　は常設展示室　濃色はアートギャラリー北海道

	10	11	12	1	2	3
近代美術館	9/3(土)〜10/30(日) 北海道新聞創刊80周年 聖徳太子1400年御遠忌記念 国宝・法隆寺展				2023/2/11(土)〜4/2(日) サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	
	9/3(土)〜11/7(月) (1階)『北の美のこころ』を携えて (2階)現代ガラスの美		11/22(火)〜2023/1/22(日) (1・2階)砂澤ビッキ展		2023/2/11(土)〜4/9(日) (1階)シャガール・イン・プリント この1点をみてほしい。 伊藤隆介《こんなことは無かった》 (2階)戦時下の北海道美術 —画家たちは戦地で何を見たのか—	
	TEL 011-644-6882　道近美　検索					
三岸好太郎美術館	10/8(土)〜12/4(日) 蝶を追いかけて		12/17(土)〜2023/4/9(日) デコボコンポジション			
	10/8(土)〜12/4(日) #みまのめ(VOL.8)		スポット展示　《立てる道化》が絵本になった!			
	TEL 011-644-8901　mima 三岸美術館　検索					
旭川美術館	9/17(土)〜11/27(日) 開館40周年記念 世界が絶賛した浮世絵師　北斎展 —師とその弟子たち—		12/17(土)〜2023/3/12(日) 開館40周年記念 モダンの芸術　100年前のヨーロッパ、日本、旭川			
	9/17(土)〜11/27(日) 開館40周年記念 こころ育む学び舎 —北海道教育大学旭川校—		12/17(土)〜2023/3/12(日) 開館40周年記念　旭川現代アート事始め			
	TEL 0166-25-2577　旭川美術館　検索					
函館美術館	10/8(土)〜12/4(日) 詩文書の魅力　金子鷗亭と中野北溟		12/24(土)〜2023/3/5(日) 来し方行く末　道南美術のクロニクル		3/11(土)〜22(水) (貸館) はこだてトリエンナーレ2023	
	10/8(土)〜12/4(日) 江戸の役者絵		12/24(土)〜2023/3/31(金) 新収蔵品展			
	10/8(土)〜12/4(日) 東洋工芸コレクション　鷗亭のまなざし		12/24(土)〜2023/3/31(金) 鷗亭と牧水			
	TEL 0138-56-6311　函館美術館　検索					
帯広美術館	9/17(土)〜12/4(日) 銀の匙　Silver Spoon展		12/17(土)〜2023/3/12(日) 北網圏北見文化センター　コレクション選 香川軍男・景川弘道と北見の美術			
	9/17(土)〜12/4(日) そら		12/17(土)〜2023/3/12(日) アニマル・キングダム			
	TEL 0155-22-6963　帯広美術館　検索					
釧路芸術館	9/17(土)〜11/23(水・祝) 祈りの造形(かたち) 地域の記憶　厚岸・国泰寺の200年 ※10月18日以降、一部の作品を展示替えします		12/17(土)〜2023/4/9(日) アートに耳をかたむけて　絵画と彫刻から聞こえる「音」			
	11/9(水)〜23(水・祝) 毛綱毅曠ミニ展示2022 「北国の憂鬱」の世界		12/17(土)〜2023/4/9(日) 追悼　彫刻家・中江紀洋			
	TEL 0154-23-2381　釧路芸術館　検索					
札幌芸術の森美術館	9/23(金・祝)〜10/10(月・祝) 北海道の建築展2022 受け継がれて進む地域性を見つめて	10/22(土)〜11/6(日) 北海道陶芸展50周年・北海道ジニア陶芸展40周年記念事業 北海道陶芸の変遷 vol.2・現代陶芸の今	11/19(土)〜2023/1/15(日) 野田弘志　真理のリアリズム		2023/1/28(土)〜3/12(日) 札幌美術展　昨日の名残　明日の気配	
			11/19(土)〜2023/1/15(日) 札幌芸術の森美術館コレクション選①		2023/1/28(土)〜3/12(日) 札幌芸術の森美術館コレクション選②	
	TEL 011-591-0090　芸術の森美術館　検索					
本郷新記念札幌彫刻美術館	9/10(土)〜12/11(日) 建築家上遠野徹(かとおの)と本郷新の宮の森のアトリエ		12/24(土)〜2023/4/16(日) New Eyes　視線のはなし			
	6/11(土)〜2023/4/16(日)　コレクション展　2022/2023〈記念館〉					
	TEL 011-642-5709　本郷新彫刻美術館　検索					

○**開館時間**　9：30 ～ 17：00　（入館は 16：30 まで）
※芸術の森 9：45 ～ 17：00（6 月から 8 月は 17：30 まで）　※札幌彫刻美術館 10：00～17：00（入館は 16：30 まで）

○**休 館 日**　●毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日のときは開館、翌火曜日休館）●年末年始（12/29 ～ 1/3）●展示替え期間（展覧会と展覧会の間）
※芸術の森　5月～ 10月無休（展示替期間は休館）
※施設により臨時休館、臨時開館の場合もありますので、各施設のホームページでご確認いただくか施設にご確認願います。

※会員証の利用について　貸館の観覧は会員証が利用できない場合がありますので、ご了承願います。
※［アートギャラリー北海道］は、道内の美術館がネットワークでつながり、双方向でアートを紹介・発信することにより、北海道全体がアートの舞台となることを目指す取組みです。

近代美術館

砂澤ビッキ展
11月22日(火)～2023年1月22日(日)

砂澤ビッキ(1931～1989)は旭川に生まれ、阿寒、鎌倉、札幌と拠点を移しながら、独学で彫刻や絵画に自己表現の道を見出した異色の美術家です。1978年音威子府に移住し巨木によって制作の幅を広げ、83年にはカナダに3ヶ月滞在して、表現を深化させます。86年の野外彫刻〈四つの風〉をはじめとする記念碑的な大作を展開するも89年、57歳で急逝。蠢くエネルギーをはらむビッキならではの膨大な作品群は、今なお異彩を放っています。

触覚的な初期抽象彫刻、独自の文様による木彫アクセサリーや《樹箱》、全面に文様を彫り込んだエビ、カニ、蝶、鳥、魚。巨塊の木彫。愛情とユーモア溢れる生活用具。精緻な構造をもつ《午前三時の玩具》。アンフォルメル風絵画や大量の裸婦デッサン、長尺の巻紙のドローイング、構想スケッチの数々。

本展では、未発表作を含む木彫作品とともに、絵画、資料約270点を一堂に展覧。「迷宮」のような多彩な表現の関係性を、フォルムの生成・変容・解体をキーワードとして探ります。

「ビッキ文様」の作品群、個人蔵

mima三岸好太郎美術館

蝶を追いかけて
10月8日(土)～12月4日(日)

鋭敏な感性で次々と詩情に満ちた作品を生み出しつづけ、大正末から昭和初期の美術界でひときわ輝いた画家・三岸好太郎(1903～1934)。31歳という夭折の生涯のなか、最晩年に集中して描いたのが、〈蝶〉と〈貝殻〉をモチーフとする幻想的な作品群でした。

花と戯れ、貝と遊び、雲上にはばたき、海を渡る…。さらにはピンをはねのけ自由へと飛び立つ。そんな蝶のきらめく姿に、画家は何を探し求めたのでしょうか。

本展では、三岸がたどりついた夢想・幻惑の世界と、そこにいたるまでの変転の軌跡をたどります。

また、北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画「#みまのめ〈VOL.8〉」を同時開催します。

三岸好太郎《海洋を渡る蝶》
(筆彩素描集『蝶と貝殻』より)1934年、当館蔵

旭川美術館

モダンの芸術 100年前のヨーロッパ、日本、旭川
12月17日(土)～2023年3月12日(日)

今から100年前、ヨーロッパにおける第一次と第二次世界大戦―二つの戦争の間の時期、パリは芸術の都として人々を惹きつけ、多くの外国人芸術家が暮らし、モンマルトルやモンパルナスに集った彼らを、批評家は「エコール・ド・パリ(パリ派)」と呼びました。この時期、日本からも多くの画家が渡仏しています。日本では大正から昭和初期にあたり、洋画家たちはフランス美術の影響を大きく受けながら、日本独自の洋画を模索し、北海道―旭川では、道産子第一世代の画家が頭角をあらわしてきた時代でした。絵画、工芸、デザインなどジャンルや国を超えてアートが花開き、後世の芸術に多大な影響を与えた100年前のヨーロッパ、日本、旭川の芸術を回顧します。

マリー・ローランサン《婦人像》
1920年、北海道立近代美術館蔵

函館美術館

詩文書の魅力 金子鷗亭と中野北溟
10月8日(土)～12月4日(日)

松前町出身の金子鷗亭(1906～2001)は、現代書の父と称される比田井天来のもとで古典の書を学び、新しい書のあり方を追究しました。近現代文学を題材に漢字と仮名を調和させた「近代詩文書」を提唱し、戦後は毎日書道展に新部門として設立するなど、現代書の振興に大きな役割を果たした書家です。

一方、羽幌町出身の中野北溟(1923～)は、25歳の頃に、東京で活躍していた鷗亭に「北溟」の号を受け、その思想を受け継ぎながら、北の風土に根ざした独自の書を制作し評価されています。

本展では、当館所蔵の鷗亭作品と「アートギャラリー北海道」の連携館の羽幌町中央公民館(書の北溟記念室)や作家が所蔵する北溟作品あわせて約60点を展示します。日本を代表する書家二人の個性が際立つ作品によって、詩文書の魅力を見つめ直します。

中野北溟《海　原子修詩》2005年、
羽幌町中央公民館(書の北溟記念室)蔵

帯広美術館

北網圏北見文化センター　コレクション選
香川軍男・景川弘道と北見の美術
12月17日（土）～2023年3月12日（日）

オホーツク地方の中核都市、北見市。美術においても大正期から現在にいたるまで、多士済々な芸術家たちが個性豊かな作品を制作してきました。本展は中でも二人の版画家を中心に、北見の美術を紹介するものです。

香川軍男（1915～2002）はじゃがいもを版として使い、北の魚や作物、開拓当初の建物や機関車などを彫りました。彼のいも版は素朴で親しみやすく、懐かしさを感じさせるものです。景川弘道（1914～2008）は木版により、国内外の風景を叙情的に表現したほか、人物、特に子供の日常を味わい深く作品にしました。

本展は「アートギャラリー北海道」の一環として、北網圏北見文化センターより所蔵作品をお借りして展示するものです。

景川弘道《腹這いになり絵を描く子ども》
制作年不詳、北網圏北見文化センター蔵

釧路芸術館

祈りの造形（かたち）　地域の記憶
厚岸・国泰寺の200年
9月17日（土）～11月23日（水・祝）
＊10月18日より一部展示替えをします。

「蝦夷三官寺」をご存じですか。南下政策を進めるロシアの動向を注視するために江戸幕府が文化元（1804）年に建立した三つの寺院のことで、そのうちの一つが、厚岸町の国泰寺です。本展では、江戸時代末期から国泰寺に伝来する初代住職の肖像（頂相）や〈仏涅槃図〉のほか、住職らが厚岸を目指して歩んだ果てしない道のりを感じられる地図資料などを展示します。国の重要文化財に指定されている『日鑑記』や、蠣崎波響の〈夷酋列像〉の一点として知られている〈御味方蝦夷之図　イコトイ〉（函館市中央図書館蔵、10月16日まで展示）も見逃せません。国泰寺の200年に及ぶ歩みを、どうぞご覧ください。

《文翁和尚坐像》1808年、国泰寺蔵

札幌芸術の森美術館

札幌美術展　昨日の名残　明日の気配
2023年1月28日（土）～3月12日（日）

パンデミックを経験し、私たちは新たな「日常」を取り入れてはいくつかを元に戻しながら、日々歩んできました。変化のただなかで私たちは今どこにいて、どこへ向かおうとしているのか――本展では、パンデミックによりあらためて問題が露わとなった自然と人との関係、そして人と人との結びつきをテーマに、過去と未来の狭間でおぼろげな輪郭をもつ私たちの現在地を探ります。8人のアーティストたちが、かつてあった「昨日の名残」と、これからを予感させる「明日の気配」を鋭敏に感じ取り表現する作品には、今をとらえ明日に向かうヒントが隠されています。

【出品作家】（敬称略、五十音順）上村洋一、北川陽稔、熊谷文秀、佐竹真紀、進藤冬華、中島洋、半谷学、渡辺行夫

半谷学《さしがさばな　枯れた傘に再び花が生ずる　花降り》
2019年、撮影:山岸靖司

本郷新記念札幌彫刻美術館

New Eyes　視線のはなし
12月24日（土）～2023年4月16日（日）

「New Eyes（ニュー・アイズ）」は当館のシリーズ展です。今日的なテーマをひとつ決め、それに即しつつ独特な思考と際立つ表現の美術家を数名ほど選出し、ここに紹介するものです。5年ぶり4回目となる今回は「視線」をテーマとしました。触れ、重なり、逸らし逸らされ、他者へ自己へと複雑に交錯する「視線」。画中の人物たちが交わす視線からはドラマが感じられます。一個の彫像が発する視線からは言葉さえも漏れ聞こえてきそうです。世界的感染症の拡大を受けて疎遠となった、視線の届く範囲でのコミュニケーション。本展は、そのあり方についても改めて考える契機となることでしょう。出品は、画家の国松紗智子、小林知世、野澤桐子、彫刻家の岩永啓司、佐藤一明です。

野澤桐子《Who is the joker ?》
2002年、油彩、キャンバス

A·RE·KO·RE information

法人会員様のご紹介（法人会員番号順）

当会を支援いただいている企業・団体様です。
QR コードからホームページを閲覧できますのでご覧ください。

株式会社　北海道銀行

北海道銀行

ホテル ライフォート札幌

中島公園と豊平川に囲まれた四季が薫るホテル。やすらぎの空間をお届けいたします。

☎011-521-5211㈹

中西印刷株式会社

地域に根差したものづくりを通し、道内の美術文化を記録し伝達していく活動に貢献。

☎011-781-7501

交洋不動産株式会社

環境を創り、未来を創る 70th anniversary

☎011-204-8311

株式会社　北海道新聞社

DOSHIN 北海道新聞

あなたとつくる
北海道の未来

☎011-221-2111

株式会社　HBA

HBA

☎011-231-8301

札幌芸術の森美術館

札幌芸術の森美術館
SAPPORO ART MUSEUM

☎011-591-0090

株式会社三好商会

MIYOSHI

企業の DX・GX の導入支援を推進し、中小企業の皆様に利益貢献致します。

☎011-631-7111

大丸　株式会社

大丸

☎011-818-2111㈹

ほくよう保険サービス株式会社

ほくよう保険サービス

☎011-204-7451

岩橋印刷株式会社

おかげさまで 100th

☎011-669-2510

株式会社アミノアップ

株式会社 アミノアップ AminoUp

自然の恵みで
世界の人々を
笑顔にする

☎011-889-2277

都市総合開発株式会社

TOSHISOGO

☎0144-78-2666

社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院

☎011-852-8866

公益財団法人 似鳥文化財団

小樽芸術村
OTARU ART BASE

☎0134-31-1033

社会医療法人社団三草会 クラーク病院

【診療科目】整形外科・リハビリテーション科・循環器内科・消化器内科・泌尿器科・リウマチ科・麻酔科

☎011-782-6160

株式会社北星コーポレーション

不動産賃貸業、
施設管理業務を営む

☎011-232-5501

HBC 北海道放送

HBC

☎011-232-5800㈹(総合案内)

株式会社モロオ

MOROO

☎011-618-2323

こぶし建設株式会社

☎0126-25-3377

株式会社　北立

hokuritu

☎0126-22-3837

北海道ビルサービス株式会社

HBS

東京美装グループの総合ビルメンテナンス事業会社
北海道で金融機関の施設管理を中心にトータルな視点から建物を管理

☎011-251-1277

日本ネイサンス株式会社 札幌支店

NNC NIPPON NAISSANCE

☎011-816-9705

株式会社北洋銀行

北洋銀行

【北洋銀行グループ経営理念】
お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日（あす）をきりひらく

☎011-261-1317

札樽自動車運輸株式会社

国際興業グループ 札樽自動車運輸

北海道に根ざして 74 年、
トラック運送を営み、
地域の物流インフラを
支えております

☎011-231-5511

ARTEPIA SALON アルテピア・サロン

ムーラン・ルージュ

石塚　裕子

父を早く亡くし、母一人残し若い頃から離れていたので、埋合わせに年に一度母と旅をしていた。最後の海外旅行は、母が86歳の時、すでに認知症になっていたが、フランス行ツアーに強行参加した。ルーヴルでは観光客が大いに有り難がっているのに、『モナ・リザ』なんて何処ででも見飽きているわと、母はさっぱり興味を示さない。私は、貴族の身なのに落馬や親の近親結婚などのせいで不幸な容姿となり、大衆酒場に通い詰めたロートレックに惹かれていたが、フランス語ができず心細いため、夜の自由行動に、地元旅行社のムーラン・ルージュのツアーを申込んだ。十分観光化されてはいたが、宝塚より遙かに洗練され華やかなレヴューの世界にすっかり魅了され、母は夢心地だった。帰りもツアーの運転手さんが高齢の母を見て、わざわざ迂回しイルミネーションの美しいエッフェル塔を周り、規則違反なのに、私たちの宿まで送ってくれた。ロートレックのポスターを見るたび、母との最後の旅を思い出す。

「浮世絵」との出会い

髙橋　久美子

以前から美術館巡りを趣味としていましたが、あまり興味を持てない分野に墨絵や浮世絵がありました。

20年程前に、東京都渋谷区の陶磁器専門の美術館「戸栗美術館」へ行くはずが、道に迷った結果「渋谷区立松濤美術館」の前へ出てしまいました。

方向オンチゆえの偶然でしたが、歌川広重、葛飾北斎の「浮世絵展」が開催されていたので、ミーハーな私はその名前にひかれて展示を鑑賞しました。

教科書や図録での浮世絵は見ていましたが、本物の江戸時代に刷られた作品を目の当たりにしていることに、鳥肌が立つのを感じました。

薄暗い照明の中で見る浮世絵は、江戸時代へタイムスリップしたかのような錯覚を感じるのと同時に、細かく描かれた美人画の背景や調度品からは、当時の暮らしが想像できることに驚きを感じました。

また、その直後にタイミングよく札幌でも近代美術館で浮世絵展が開催され、たっぷりと浮世絵の鑑賞ができました。

それ以来、浮世絵の世界観（江戸時代の暮らし）への関心が非常に強まり、現在カルチャー教室で「江戸学」を受講するに至っております。

道立近代美術館と私

渡部　睦子

私が初めて近代美術館を知ったのは学生時代、パースの課題でした。

パースとは建築中の新しい美術館の図面を示され、それを基に建物の外観の完成図を描くというものです。

初めて見るその図面は、特徴のある大きな三角の屋根やエントランス上のガラス貼りの張り出し部分などとても未来的で格好よく、新時代の美術館という印象でした。

ただ、それだけに私の拙い技術ではとても難しく四苦八苦、特に屋根は何度描き直しても上手くいきません。

結局、納得いかないまま課題は提出しましたが、当然ながら評価はあまり良くありませんでした。

後に完成した美術館を見に行きましたが、その大きさと美しさに驚き、自分の下手糞な完成予想図を申し訳なく思うと同時に近代美術館は私にとって親しみを感じる建物になりました。

その後幾度となく訪れましたが、年月を経て老朽化問題などと聞くと我が身と重なり少し切ないような気持ちで大きな屋根を見上げているのです。

ご入会ありがとうございます　新会員紹介　2022年3月～7月・敬称略

＊個　人　会　員

3月

札幌市　北上雅能
〃　瀬藤真理子

4月

札幌市　石塚裕子
〃　渡部睦子
〃　木下治美
〃　髙道良枝
〃　柴野邦子
〃　松井紀子
〃　横山蘭子
〃　小松真紀
〃　柳沼光子
〃　斉藤奈々子
〃　佐藤馨子
〃　島崎佐智子
〃　安田洋子
〃　久保内秀樹
〃　牧内勝哉
〃　葛西ひとみ
〃　佐藤睦子
〃　佐々木亮子
〃　畠山晃子
〃　髙橋まり子
〃　髙橋一裕
札幌市　安岡司
〃　佐々木路佳
〃　佐々木有美子
〃　大澤純子
帯広市　佐藤由美
北広島市　若林直樹
当別町　大澤俊信

5月

札幌市　中田幹雄
〃　渡辺さとみ
〃　竹内優美子
〃　山田志津代
〃　石坂大樹
〃　石坂美千子
〃　佐野正明
〃　佐野美恵子
〃　山崎博夫
〃　中澤浩
〃　中澤ま千み
〃　今草
〃　古賀貴亮
〃　成田昌子
〃　別府隆一郎
〃　佐藤良子
〃　髙橋アンナ
札幌市　三浦雅司
〃　大柳洋子
〃　大岡崎靖英子
〃　岡崎陽子
〃　宮本巖
〃　中鉢陽子
比布町　太田久美子

6月

札幌市　狭間宜子
〃　坂入浩子
〃　土井礼奈
〃　山田和加子
〃　黒田洋子
〃　坂本幸子
〃　篠塚ゆかり
〃　風無隆夫
〃　辻倉桂子
〃　山田雅宣
〃　古澤い徹
〃　佐藤く正子
〃　加畑尾容子
〃　中原順子
〃　桑山文恵
〃　浅生美津子
札幌市　風無佳子
〃　坂井瑞江
〃　小瀬川京子
〃　小板飛人
〃　小板綾美
〃　上田夕子
〃　和久本直美
〃　加茂桂子
〃　遠藤るみ子
〃　佐藤敬子
〃　大林潔司
〃　長谷部幸子
〃　武田静
〃　髙橋美由紀
恵庭市　久光原
小樽市　谷幸政
〃　谷佳津子

7月

札幌市　赤城健子
〃　佐藤曜子
〃　髙本憲司
〃　山下恵子
〃　高橋英里
〃　遠藤陶子
〃　佐藤多恵子
芦別市　松井りおか
小樽市　貞方紀子
帯広市　白川部慶太
美幌町　岡久実
〃　岡久満知子
紋別市　内田明
〃　内田登子

＊法　人　会　員

5月

札幌市　教育互助センター

6月

札幌市　札樽自動車運輸

（アルテピア HP）

令和4年度　定時総会の報告

6月28日(火)、近代美術館講堂において定時総会が開催されました。

冒頭、吉野会長から、「当協力会の活動もこの2年間にわたり、美術館の休館やコロナ対策で活動が制約される中で十分ではないが、活動を進めてきました。この間、ボランティア活動員のご努力や会員の皆様のご支援のお陰で何とか乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。今後も、コロナは予断を許さない状況ですが、基本的にはこれまでの事業を中心に進め、更に充実させたいと考えています。

特に、この2年間に大幅に減少した会員の問題ですが、会員確保・拡充はいろいろな意味で協力会の大変重要な柱であり、しっかりと取組みたい。」と挨拶がありました。

議案審議の概要

議案第1号　令和3年度事業報告及び収支決算報告について

原案どおり承認可決しました。

事業実施状況については、新型コロナの影響により、事業の制約もありましたが、支出も抑えられ全体の収支は黒字となりました。

収支決算については、(表1)のとおりです。

議案第2号　理事・監事の任期満了に伴う選任について

役員の任期は2年で本総会をもって満了となることから、役員の選任を行い、原案どおり承認可決しました。

新たな役員については、下表のとおりです。

報告第1号　令和4年度事業計画及び収支予算について

事業計画及び収支予算について報告がありました。

事業計画については、基本的に従来から実施している事業をベースに策定されましたが、今後のコロナの状況等も見極め、十分、安全対策を取りながら事業を進める方針。

収支予算については、(表2)のとおりです。

新　体　制

（令和4年6月28日　現在）　理事(五十音順)

会　　長	吉野　次郎	理　事	*池上　喜重子	*木村　寿賀子	堀　　利幸	監　事	伊藤　文明
副 会 長	吉田　洋一		石井　孝久	小砂　憲一	安木　尚博		安部　和彦
	和田　壬三		石黒　勇治	鹿内　正一	*山本　亜紀子		
	杉本　　亙		小沢　正晴	戸井　敏夫			
専務理事	三原　和廣		加藤　康夫	坪内　弘樹			

＊ 新任者

ボランティア活動員入部式

令和4年度ボランティア入部式が、4月1日（金）近美講堂において行われ、12名が協力会より委嘱状を受け取りました。

昨年8月から始まった共通研修・各部専門研修は、設備修繕工事による近美の臨時休館などのため、研修日や研修回数を変更して実施されましたが、8割以上の出席を果たしボランティア活動員になられました。

新しい仲間となった皆さんの新鮮な感性と新風を期待しています。

(表1)

令和3年度 収支決算総括表（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位:円）

収入の部				支出の部			
科目	合計	一般会計	売店会計	科目	合計	一般会計	売店会計
基本財産運用収入	102	102	0	事業費支出	16,923,539	4,712,377	12,211,162
特別収入	34	34	0	管理費支出	6,976,125	6,976,125	
会費収入	9,156,000	9,156,000	0				
事業収入	11,897,194	121,500	11,775,694				
寄付金収入	0			他会計への繰入金支出	3,000,000	0	3,000,000
雑収入	2,639,957	30,011	2,609,946				
特定資産取崩収入		0		特定資産取得支出	34	34	
他会計からの繰入金収入	3,000,000	3,000,000	0				
当期収入合計	26,693,287	12,307,647	14,385,640	当期支出合計	26,899,698	11,688,536	15,211,162
前期繰越収支差額	3,343,083	-227,817	3,570,900	次期繰越収支差額	3,136,672	391,294	2,745,378
収入合計(B)	30,036,370	12,079,830	17,956,540	支出合計(B)	30,036,370	12,079,830	17,956,540
予算額（A）	36,855,800	11,495,291	25,360,509	予算額（A）	36,855,800	11,495,291	25,360,509
差異（A－B）	6,819,430	-584,539	7,403,969	差異（A－B）	6,819,430	-584,539	7,403,969

(表2)

令和4年度 収支予算総括表（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位:円）

区分	収入の部					支出の部				
	科目	予算額	前年予算額	差異	備考	科目	予算額	前年予算額	差異	備考
一般会計	基本財産運用収入	500	1,000	-500	定期預金利息	事業費支出	8,639,284	7,514,084	1,125,200	
	特別収入	30	30	0		美術活動協力事業費支出	8,260,584	7,166,084	1,094,500	各部活動経費、会報、会員観覧料等
	会費収入	10,647,000	11,435,000	-788,000	個人、法人会員年会費	美術講座等開催事業費支出	275,500	292,000	-16,500	美術講座等経費
	事業収入	720,000	720,000	0	美術講座受講料					
	寄付金収入	0	0	0		美術館研修視察事業費支出	67,200	0	67,200	
	雑収入	100	100	0	普通預金利息	美術優秀創作活動等顕彰事業費支出	36,000	56,000	-20,000	協力会賞贈呈経費
	他会計からの繰入金収入	0		0		管理費支出	5,377,704	7,334,885	-1,957,181	運営管理費
						特定資産取得支出	30	30	0	
	当期収入合計	11,367,630	12,156,130	-788,500						
	前期繰越収支差額	32,972	-660,839	693,811		当期支出合計	14,017,018	14,848,999	-831,981	
						当期収支差額	-2,649,418	-2,692,899	43,481	
						次期繰越収支差額	-2,616,446	-3,353,738	737,292	
	収入合計	11,400,602	11,495,291	-94,689		支出合計	11,400,602	11,495,291	-94,689	
売店会計	事業収入	33,435,000	20,550,000	12,885,000	商品売上収入	事業費支出	32,966,556	21,129,701	11,836,855	仕入費、賃金、施設賃借料等
	雑収入	180,050	180,100	-50	自動販売機手数料等	他会計への繰入金支出	0		0	
	当期収入合計	33,615,050	20,730,100	12,884,950		特定資産取得支出	0	0	0	
						当期支出合計	32,966,556	21,129,701	11,836,855	
						当期収支差額	648,494	-399,601	1,048,095	
	前期繰越収支差額	2,173,384	4,630,409	-2,457,025		次期繰越収支差額	2,821,878	4,230,808	-1,408,930	
	収入合計	35,788,434	25,360,509	10,427,925		支出合計	35,788,434	25,360,509	10,427,925	
総計		47,189,036	36,855,800	10,333,236		総計	47,189,036	36,855,800	10,333,236	

Artepia News

令和4年度 春 屋外彫刻清掃
2022年6月8日（水）

肌寒い日が続き心配されていた天候も回復したこの日、恒例の野外彫刻清掃が行われました。昨年はコロナの影響で十分な清掃が出来ませんでしたが、今回はボランティア 19 名と学芸員 6 名が参加して久しぶりの清掃に汗を流しました。

学芸員から彫刻の修復やメンテナンスについての説明を聞いた後グループに分かれて近美 5 点、知事公館 3 点の作品をスポンジや雑巾、高いところは脚立を使って丁寧に汚れを落としていきました。

埃やくすみが取り除かれ輝きを取り戻した彫刻が緑に映えて美しく、訪れる多くの方々をお迎えしています。

令和4年度ボランティア活動員 7部合同説明会･各部ガイダンス

今年度のボランティア活動員７部合同説明会・各部ガイダンスは７月21日（木）～22日（金）に近代美術館講堂に於いて感染防止対策をはかりながら実施されました。

説明会では７部部長がそれぞれの活動をあらまし紹介した後、参加者は希望する各ブースに移動し、現役ボランテイアから具体的な活動内容の説明を受け、不明な点への質問などをしていました。熱心に耳を傾けていた多くの参加者が、来春ボランティア活動員として、活躍されることを期待しています。

第76回全道展

第76回全道展（全道美術協会、北海道新聞社主催）が6月15日（水）から26日（日）まで札幌市民ギャラリーで開かれました。コロナ禍の中で3年ぶりとなった公募展のうち、北海道美術館協力会賞は札幌市の佐野果帆子さん（23歳）の油彩「アトリエと通路」が、最高賞の全道美術協会賞とダブル受賞し、当協力会の杉本亙副会長から賞状と賞金が授与されました。

佐野果帆子《アトリエと通路》

近美Museum Shop

ファン（扇子型うちわ）
全5色
各880円

ポップアートカード
（ムンク）
1,100円

西田香代子の縄文手ぬぐい
全4色
1,430～1,980円

アルテピアオリジナルコーヒー
5Pセット　670円
1P　　120円

編集だより

■今回初めて編集作業に参加させていただき、綿密な計画と細かい気配りの積み重ねの上に「アルテピア」の発行があることを知りました。今回は右往左往しているうちに終了しましたが、次号からは戦力になれるよう頑張りたいと思います。　（T）